

**学校名** 熊谷市立大里中学校  
**所在地** 熊谷市中曾根815  
**電話** 0493-39-0310

## 1 本校の概要

本校は田園風景の広がるのどかな地域にある。市町村合併により10年前に熊谷市に編入された。生徒数は285名で12学級から成る。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に関わる取組
- ・ その他（ビブリオバトルの授業）

### (2) 実践の概要

本校の生徒は日頃から読書の習慣があり、朝読書にも大変静かに取り組める。しかし個人の好みにまかせた読書では幅が狭く、いつも同じような本を読んでいる生徒も多い。いろいろなジャンルの本に視野を広げ、感想を話し合う等のコミュニケーションをねらいとして以下の実践をおこなった。

#### ア 図書委員会による巡回図書

本校では各教室に50冊の学級文庫を設置している。「こころのたから」や課題図書を中心に選定した。今年度は、それとは別に図書室の本から委員が選んだ本を一ヶ月ずつクラスを巡回する取組をおこなった。

#### (例) 一年生の巡回図書

①アンネの日記 ②図書館戦争 ③家族ゲーム ④「のび太」という生きかた ⑤サッカークイズ  
⑥モデルに聞いたこわい話 ⑦白雪姫 ⑧ワンピース ⑨帰宅部ボーイズ ⑩ぼくが探偵だった夏

#### イ ビブリオバトルの授業

ビブリオバトルは「知的書評合戦」とも呼ばれ、いろいろなどころで、大会も開かれるようになった。本校では二年生の国語の授業で扱った。

#### 【公式ルール】（ビブリオバトル普及委員会による）

- 1 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- 4 全ての発表が終了した後に、「どの本が一

番読みたくなかったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

- 5 自分の紹介した本には投票せず、紹介者も他の発表者の本に投票する。

スピーチとディスカッションの場面があり、中学二年生のレベルにふさわしい授業となった。

また、『チャンプ本』を決定するというゲーム性もあり、生徒はたいへん意欲的に取り組んだ。

#### (例) チャンプ本に選ばれた本

①学校では教えてくれない日本史 ②獣の奏者 ③空想科学読本 ④神様のカルテ ⑤ビリギャル  
⑥日本男児 ⑦きみの臓腑を食べたい ⑧5分後に意外な結末 ⑨黒すぎる心理学  
⑩ぼくは明日昨日の君とデートする

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 巡回図書のおかげで普段図書室に足を運ぶことのない生徒も図書室の本を手にすることができ、図書室への関心が高まった。また、図書委員の活動が増え、委員会の活性化につながった。

イ ビブリオバトルの本の紹介では、自分の好きな本について語るので、生徒は生き生きと取り組んだ。

内容に関するクイズを出したり、一部を朗読したり、人物関連図を作ったり、工夫のあるスピーチを行い、プレゼンテーション力が向上した。

ウ ビブリオバトルの学習後の感想では、「今まで読んでこなかったジャンルの本を知ることができた」「友達がどんな本を読んでいるのかわかった」というものが多かった。また、友達との本の貸し借りや図書室での貸出も増加した。

### (2) 課題

ア 巡回図書は今年度始めた取組だが、好評だったので、今後はもっとPRしていきたい。

イ ビブリオバトルを全校でおこなえないか。

### (3) おわりに

個人の読書の幅は確実に広がったと思われる。今後は、そこで身に付いた力や生かし方について考えていきたい。

